

終戦 80 年企画展

モノが語り継ぐ 戦争

戦争と宇城



あの頃、
私たちのまちでも戦争があった

宇城市立郷土資料館

入館料
無料

所在地 宇城市豊野町糸石 3818
TEL 0964-32-1954(文化スポーツ課)
0964-45-2102(資料館)

開館時間 10～17時
休館日 月・木曜日
(祝日の場合は翌日休館)

2025 8.8 金

10.13 月祝

2025 年は第二次世界大戦が終結して 80 年の節目の年です。しかし、人々のほとんどが戦争を知らない世代となったこの時代に、日常生活で戦争を身近に感じる機会はまったくと言っていいほどなくなりました。日本は、戦争を負の歴史として二度と繰り返さないことを憲法にうたっていますが、現代人にとって戦争は歴史上の出来事、または遠い外国の出来事としてしか認識されなくなってきています。

宇城市でも、終戦間際に行われた松橋空襲をはじめ各町で空襲を受け、大きな被害が発生していますが、この事実を知らない人も少なくありません。そして、郷土の人々が戦地へ出兵し、多くの方が亡くなった事実を知る人もまた少なくなっています。

本企画展では、市内在住の戦争経験者から宇城市に寄贈された戦争関連収蔵資料を展示し、当時の人々にとって戦争が身近な場で起こっていた事実であることを紹介します。

戦争経験者のそばで、激動の時代を駆け抜けた「モノ」たちが語る記憶。終戦から 80 年、今一度ふるさとでも戦争があったことについて考えてみませんか。

主な展示品



召集令状（通称 赤紙）



軍隊手帳



軍用手票



奉公袋



兵士の装備品



郷土将兵慰問写真帖



夏目信弘氏松橋空襲スケッチ
（パネル展示）

宇城市立郷土資料館

宇城市豊野町糸石 3818
TEL 0964-45-2102

宇城市公式 HP



同時開催

蒙古襲来絵詞
（複製品）

場面展示 絵1

公開中

8月31日◎まで
※今後月替わりで全場面を展示

